

令和4年度きのくにコミュニティスクール座談会（有田川町）

日時：令和5年2月14日（火）13:30-15:30
会場：有田川町地域交流センター【ALEC】
参加者：14名（学校運営協議会委員、公民館館長、公民館主事等）



うえば けんじ 氏
上羽 寛 氏

上富田町生馬公民館長



元県立学校長

おおむら しゅんいち 氏
大浦 俊一 氏

かつらぎ町妙寺公民館長

公民館と学校の協働 ～子供と地域をつなげる公民館活動～

公民館長になられたきっかけは？



県立高校を退職後、公民館運営委員をしたのがきっかけ。妙寺自治区長・教育長の「ちょっと話があるんだけど」という誘いに乗ってしまった。家族にも相談したが、受けて良かった。日々、たくさんの出会いに感謝している。

小中高校のPTA活動をきっかけに、公民館運営委員をしたのがきっかけ。館長になって10年以上になる。学校と一緒に子供たちの成長に関わっている。子供を引き寄せる雰囲気づくりを大切にしている。



公民館にテレビ取材が来ることになりました。何を紹介しますか？



『竹灯籠の会』

実際にテレビ局が取材にきました。映像を見てください。

これは出来上がった竹灯籠の写真。作成過程において、地域の小学校、中学校、高校と関わる時間が随分とあった。「おもしろそうですね」と反応してくれる校長先生の存在が大きいと思う。それぞれの年齢の子供に役割があるが、児童・生徒の力を借りると想像以上の力を発揮してくれる。まちづくりの一環の行事で、大人も子供も共に育つ行事にしたいと思っている。

『寺子屋教室』

毎週水曜日の放課後に実施する寺子屋教室。「一字一字丁寧に字を書く時間が欲しい」という学校の願いと、「地域で子供に関わる場を設けたい」という公民館の願いが一致して実施。もう10年以上続く教室となっている。

子供達の頑張っている姿を見るのは嬉しい。完成作品をロビーに飾って毎週積み重なっていく。上達の段階がよく分かる。それ以外にも、迎えにくる保護者の交流の場になったり、関わってくれる大人の生涯学習の場にもなったりしている。一つの取組からいくつもの成果があるのが良いところ。



会場から質問はないですか？

ボランティアスタッフの確保をするための工夫を教えてください。



広報誌などで呼びかけはしているが、大切なのは口コミでの広がり。経験した人が「楽しかった！」と思ってくれたら、口コミでつながりが自然と広がっていく。軽い気持ちで参加してもらい、ゆるやかなつながりを作るよう心がけている。

PTA活動をはじめ、多くの町の行事にボランティアとして関わってきた。その時のつながりに助けられている部分が多い。関係づくりが出来ている人に声かけして、協力してもらっている。協力してくれた方同士の会話が横のつながりをさらに作っている。



公民館長は楽しいですか？



公民館長は面白い！私自身、地域にデビューするきっかけをくれたし、人とのつながりが広がっていく。行事を通して、参加者も運営側も喜んで帰ってもらうのが良い。失敗もたくさんするが、課題をクリアしていく楽しさがある。

とにかく笑顔を見るのが好き。子供だけではなく保護者も楽しんでもらえるようにしている。そのために、保護者はお客さんではなく、スタッフとして参加してもらえよう工夫をしている。



公民館主事に大切にしてほしいことは？



うちの公民館の顔は主事。地域の方々と世間話をする時間を大切にしてくれている。子供たちと主事が遊んでいる姿も嬉しい。初めてだから見えるもの、知らないからこそプラスにできることを大切にしてほしい。

上富田町の公民館主事は行政職員。新しく入ってきた主事が地域の方々と関わり、地域を知り、数年間かけて育っていく。育った主事が別の担当になっても主事経験を生かして地域に根差し続けている。



最後にメッセージをいただけますか？



コロナを言い訳にしたくない。コロナ禍であっても公民館活動を意地でやっている。活動はただ継続するのではなく「工夫しながらの継続は力」という言葉を念頭に置いている。子供たちに「ナナメの関係」を作ってあげたい。

「地域の子供は地域で育てる」ということをこれからも大切にしていこう。そのために、みんなが主役になれる3世代の交流行事は大切。コロナ対策をして、数年間止まってしまった行事は復活させたい。



参加者の感想

- ・人集めの部分で大変な思いをしています。横のつながりの形成、他団体との合同開催など、子供も大人もわいわい集まってくれるような仕組みづくりに取り組んでみたいと思います。
- ・「学校が困っていることは、地域で助ける。」と言われていました。今後も地域の方に助けてもらいながら活動したいと思います。(学校職員)
- ・具体的な企画・運営についてお話が聞けて良かったです。お二人のやる気パワーを感じました。

